



はじめる前に

ACS 操作マニュアルをダウンロードください。



お問合せ通知メール自動振分け設定

お問合せ通知メールの自動振分け機能 HPからの引合いを漏らさず管理し、素早く対応

設定した「エリア（住所）」や「キーワード（問合せ内容 / 引合い内容）」に則して、自動的に営業担当者へカーボンコピー（CC）メール送信する機能です。

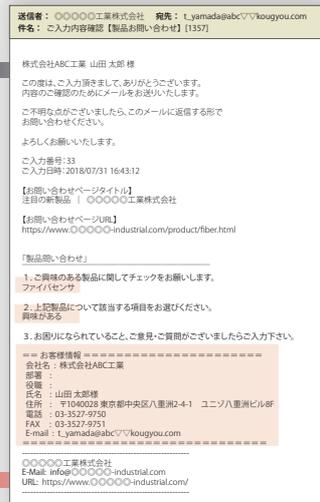
「and」「or」「not」などの論理演算を使用して、複数の条件を組み合わせた設定が可能です。

製品ページ（お問合せフォーム付）例

注目の新製品 | ○○○○○工業株式会社
https://www.○○○○○-industrial.com/product/fiber.html



お問合せ通知メール例



TO info@等へメール送信

お問合せ通知自動振分け設定画面



A 事業部
購入検討 神奈川県

CC 東京都 + ファイバセンサ 興味あり
条件に合った各営業担当へメール送信

キーワードに設定できるもの

アンケートフォームの種別タグ
(ACSログイン>アンケート>設定>質問/回答)

アンケートフォームを埋め込んだページのタイトル
アンケートフォームを埋め込んだURL



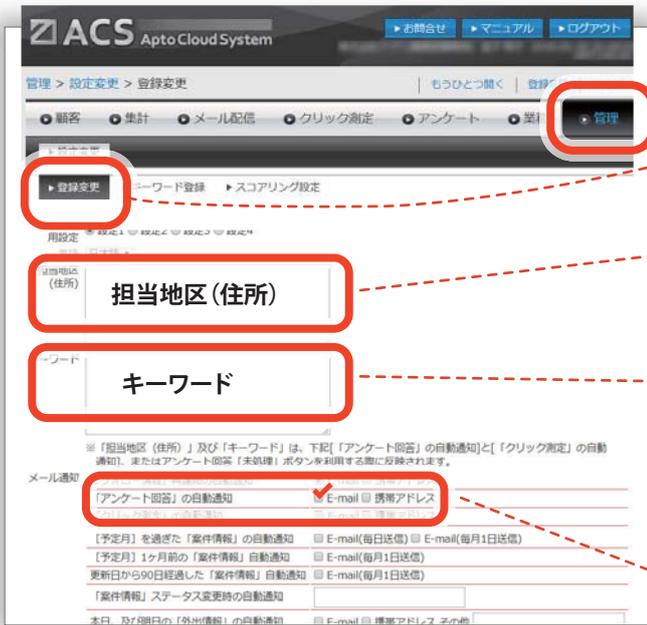
アンケートフォームの回答



お問合せ通知メール自動振分け設定方法



【自分のアカウントのみ】お問合せ通知自動振分け設定方法



ロール権限：制限はありません

1. ACSログイン>管理>設定変更>登録変更を開きます。
2. 担当地区（住所）を入力します。
顧客情報の住所欄より、部分一致を条件に振分けます。論理演算が使えます。
→「**論理演算 (and, or, not) による条件指定**」
ACS操作マニュアル「第2章 顧客の検索 / ダウンロード」P8
3. キーワードを入力します。
アンケートの[ページURL][回答項目][種別タグ][ページタイトル]からキーワードを選びます。論理演算が使えます。
4. メール通知項目内 [アンケート回答の自動通知] E-mailにチェックを入れて[変更]をクリックします。

担当地区（住所）とキーワードの間はすべて「and」を取ります。

【全アカウント一括】お問合せ通知自動振分け設定方法



ACS ログイン > 管理 > 設定変更 > アカウント編集を開きます。

ロール権限：**アカウント編集可** の方のみ設定が可能です。

- 「アカウント編集」が画面表示されない場合は、ロール権限が、アカウント編集可 ではない可能性があります。
→「**アカウント権限表**」（マニュアル一覧）



1. [ダウンロード（基本情報）]をクリックします。アカウントリストがダウンロードされます。
2. リストの担当地区とキーワードを編集します。営業No (A列) を、リスト上書き条件として使用しますので、営業No欄は変更しないでください。論理演算が使えます。



3. [ファイルを選択]から編集したリストを選択し、[アップロード]をクリックします。

個別に設定する場合には『【自分のアカウントのみ】お問合せ通知自動振分け設定方法』をお読みください。

お問合せ通知メール自動振分け設定条件例



担当地区やキーワード条件を組み合わせた設定条件例をご紹介します。

◎ 東京都と神奈川県からのお問合せを受けたい

担当地区（住所）

東京都 or 神奈川県

キーワード **and**

◎ 「A 事業部」とタグ付けしたアンケートフォームより「神奈川県」のお問合せを受けたい。

担当地区（住所）

神奈川県

キーワード **and**

A 事業部

◎ 特定の製品ページ「アプトセンサー」より、アンケートの回答にて「見積希望」を選択されたお問合せを受けたい。

担当地区（住所）

キーワード **and**

<http://apto.info/product/aptosensor.html> **and** 見積希望
アプトセンサー **and** 見積希望

担当地区（住所）とキーワードの間はすべて「**and**」を取ります。

よくあるお問合せ

みなさまからいただくご質問の中から、よくお問合せいただくものをご紹介します。

◎ 「京都府」担当なのに「東京都府中市」のお問合せが入ってきて困る

担当地区（住所）

京都府 **and not** 府中市

「東京都府中市」に含まれる“京都府”が原因です。「担当地区」へ「京都府 **and not** 府中市」と入力します。

◎ 担当地域と除外地域を分かり易く管理したい。

担当地区（住所）

(神奈川県 or 東京都 or 埼玉県) **and not** (大阪府 or 京都府 or 兵庫県)

担当地域

除外地域

前半の () には担当地域、後半の () には除外地域を入れます。各地区の追加には「or」を使い、「and not」は固定します。

◎ 条件文は間違っていないのにメールが送られない。

担当地区（住所）

(神奈川県 or 東京都 or 埼玉県) **and not** (大阪府 or 京都府 or 兵庫県)

担当地区（住所）

(神奈川県 or 東京都 or 埼玉県) **andnot** (大阪府 or 京都府 or 兵庫県)

「and」「or」「not」の前後に半角スペースがないことが原因です。ただし、「and」「or」「not」が条件文の先頭にくる場合、前半角スペースは不要になります。